府中市市民協働推進行動計画（平成３０年度～令和３年度）　進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況																		備考	
					H30	R1	R2	R3	H27			H28					H29					H30						
									進捗状況	実績	次年度へ向けた取組	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組		
	推進方策1 市民の協働に対する意識の醸成																											
	目標（1）市民協働に関する効果的な啓発・PR活動の推進																											
1	市民協働推進シンポジウムの開催	協働推進課		市民協働の理念や市の取組について、広く市民にお知らせするとともに、今後の取組や活動につなぐことができるよう、シンポジウムを開催します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	市民協働推進月間に合わせ、府中グリーンプラザにおいて、株式会社studio-L代表の山崎氏による基調講演と、府中市内で実際に活躍されている自治会やNPO団体、学生、事業者等、多様なパネリストと山崎氏によるパネルディスカッションを実施した。 ［参加者数］213人	アンケート結果等市民ニーズを踏まえ、体験型のシンポジウム等、内容の充実を検討する。	計画通りに進んでいる	市民協働推進月間に合わせ、ルミエール府中において、株式会社エンパブリック代表の広石氏による基調講演と、これからの府中に必要な取り組みや自分たちに出来ることを考えるワークショップを実施した。 ［参加者数］108人 ［参加者満足度］ 講演90%、 WS100%、展示79%	講師からの資料が事業当日の昼であり、資料の配付等参加者対応が後手となってしまったため、講師との調整やスケジュール管理等改善の余地が残った。	市民協働まつりと一体感をもって実施していくため指定管理者事業に移行し、市民活動センタープラッツの開館記念と併せて年２回開催する。		計画通りに進んでいる	市民協働推進月間に合わせ、市民活動センターにおいて、株式会社AzMama代表取締役の甲田氏による基調講演と、府中市内で実際に活躍されているNPO団体、市長をパネリストとして迎え、甲田氏によるパネルディスカッションを実施した。 ［参加数］121人 ［参加者満足度］ 講演88%、パネルディスカッション 78%	開催日時の設定が参加対象者に合っておらず、参加率が低い結果となった。	参加対象者に合わせた開催ができるよう、早期に施設予約を行う。 市内の身近な協働事例の掘り起こしと団体との関係づくりを行う。	平成29年度より指定管理者業務に移管	計画通りに進んでいる	市民協働推進月間に合わせ、市民活動センターにおいて、産業能率大学経営学部教授の中島氏による基調講演と、「福祉」「まちづくり」「青少年」と異なる分野で活動されている3名の府中市民をパネリストとして迎え、中島氏によるパネルディスカッションを実施した。 また、シンポジウム終了後、登壇者と希望者による懇親会を実施した。 ［参加者数］137名 ［参加者満足度］ 講演79%、パネルディスカッション 83%	登壇者の確定が遅れ、広報活動のスケジュールに影響した。 パネルディスカッションの事前打合せが十分ではなかった。	参加対象者に合わせた開催ができるよう、早めに会場を確保する。 また、連絡を密に取り合い、内容についての協議、登壇者へのアプローチを早めに行うとともに、スムーズに広報活動を行う。		協働推進係
2	市民協働出前講座の実施	協働推進課	文化生涯学習課	市民や各活動団体等の要請に応じ、市が目指す市民協働の理念や取組状況等について、市職員が講師となって情報提供を行う出前講座を積極的に実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	出前講座のメニューに「市民協働について」を掲載し、市民から要請のあった場合、講座を実施することができるよう対応した。 ［講座要請数］0回	継続して出前講座のメニューに掲載するとともに、市ホームページのコンテンツを新たに作成し、積極的な周知を図る。	計画通りに進んでいる	継続して出前講座のメニューに掲載するとともに、市ホームページのコンテンツを作成した。 ［講座要請数］0回	取組の認知度の向上。	出前講座自体の活用状況を把握するとともに、提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業等で積極的に周知を図る。		計画通りに進んでいる	提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業等で積極的に周知を図った。 ［講座要請数］1回	取組の認知度の向上。	引き続き、出前講座自体の活用状況を把握するとともに、提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業のほか他課に働きかけを行うなど積極的に周知を図る。		計画通りに進んでいる	提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業等で積極的に周知を図った。 ［講座要請数］1回	取組の認知度の向上。	引き続き、出前講座自体の活用状況を把握するとともに、提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業のほか他課に働きかけを行うなど積極的に周知を図る。		協働推進係
3	協働事例集の作成	協働推進課	関係課	市内の各活動団体等の様々な協働事例から、ノウハウや成果等を学ぶとともに、実務の手引にもなる事例集を作成します。	発行	発行	発行	発行	計画通りに進んでいる	次年度の発行に向けた検討を行った。	発行に向け、協働相手とともに掲載内容等の協議を行い、作成する。	計画通りに進んでいない	組織改正に伴い発行を平成29年4月とした。 ［作成部数］ 1,000部	指定管理者事業に移行するため、掲載事業等より一層の情報共有が必要となる。	SNSを活用し、協働事業を随時紹介いただくとともに、年度末に取組をまとめた形で事例集として発行いただく予定。	次年度へ向けた取組については、指定管理者との打合せで提案があったものであるが、口頭でのやり取りであったため、今後打合せの中で確認をしていく。	計画通りに進んでいる	28年度に作った事例集をプラッツHPにリンクを貼って紹介。また、それ以外の事例についてもプラッツの機関誌やSNSやHPを活用し、少しずつ紹介をしていっている。	28年度に作成した紙版の残数が少なく、配布ができない。新規に取材・紹介をしていっているが、事例が少ない。	事例の掘り起こし。	平成29年度より指定管理者業務に移管	計画通りに進んでいる	プラッツのHP・SNS等で協働の事例を少しずつ紹介していっている。	配布活用できる紙版がないので、アピールが弱い。	紙媒体の更新に向け、事例のストックと取材や編集に協力してもらえる人材の育成について検討。		市民活動センター
	目標（2）新たに協働に取り組もうとする市民への参加の機会づくり																											
4	市民活動・協働に関する入門講座の実施	協働推進課		これまで、意欲はあっても公益的な活動や協働事業に参加する機会がなかった市民や、これらの取組に参加したいという意欲のある若い世代を対象とした講座や講演会などを開催します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	次年度の実施に向けた検討を行った。	次年度の試行実施に向け、内容や講師等についての協議を進めていく。	計画通りに進んでいる	市民協働・ボランティアの1stステップ講座として、NPO法人府中市民活動支援センターの林氏を講師とし、協働の必要性や地域への波及効果、協働事例に関する座学及び協働事業の体験・見学ツアーなど、2期3コマ開催した。 ［参加者数］前期10人・後期10人（計20人） ［参加者満足度］ 100%	ターゲット層として、初心者を想定していたが、すでに市民活動に取り組んでいる方の参加が多数あった。参加者満足度は高いものではあったが、対象と参加者のミスマッチがあったため、事業内容等の見直しの余地がある。	指定管理者事業に移行し、市民活動に取り組む市民の拡充を図るとともに、すでに市民活動に取り組んでいる市民に協働を理解いただけるような講座を引き続き開催する。	平成29年度より協働推進課へ事務移管	計画通りに進んでいる	①市民活動入門講座を開催した。 ・「まちに踏み出す！ボランティア」16名 ・「おいしいでつなげよう！まちづくりの輪」16名 ・「男の市民活動入門」14名 ・「あなたのスキルが街を変える」24名 ②講演会を開催した。 ・「外遊びの楽しさ再発見！゛冒険遊び場 "ってなぁに？」50名 ・ﾄｰｸｾｯｼｮﾝ「閉ざされた心が開くとき～少年たちへのアプローチから見えること～」150名	①入門講座は、単発の講座の繰り返しでは実際の活動への足掛かりとしては限界がある。 ②講演会は、社会課題の啓発、活動への参加のきっかけとして有効であるので、様々なテーマでの開催が必要。	①入門講座は連続講座として開催する。 ②講演会はプラッツ1周年にあわせて告知を強化し、市民活動への関心層を広げる。	平成29年度より指定管理者業務に移管 ※商業施設と同じ建物内にあるため、無関心層の来場が多く見られる。そのため、まずは無関心層を関心層に『引きあげるための取組を行っている状況である。	計画通りに進んでいる	①入門講座2クール開催。 はじめての市民活動入門編（全5回）/50から始めるまち活塾（全4回） 修了生が市民活動団体を作り活動開始。 ②講演会は、1周年企画として「川畠成道後援会＆ミニヴァイオリンコンサート」を開催した。 ③無関心層の引き上げの為（入門講座や講演会に参加する以前の方向け）に、「プラっとカフェ」を開催。8回	①入門講座はシニアの参加をどう促すかが課題。 ②講演会は、引き続き様々なテーマ出しで、が課題。 ③活動に興味を持ってくれる方はいるが、その場自体がさらに気軽におしゃべりでき、課題を持ち寄れる雰囲気づくり。	①講座修了生のグループ化の支援と、同様の連続講座を引き続き実施する。 ②多様なテーマで複数回の開催。 ③ミニ講演会にならないよう、参加者が自分を出せる雰囲気づくりに留意しながら継続。		市民活動センター
5	次代の協働の担い手の育成に向けた各種事業の実施	協働推進課、地域コミュニティ課、児童青少年課、指導室		地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながりを深めることができる事業を実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材等を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながりを深めることができる事業を実施することができた。	引き続き事業を実施する。	計画通りに進んでいる	地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材等を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながりを深めることができる事業を実施することができた。	さらに児童・生徒等の子どもたちが地域とつながりを深めることができる方策についての研究等を行いつつ、事業継続させていくことが課題である。	引き続き事業を実施する。		計画通りに進んでいる	地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材等を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながりを深めることができる事業を実施することができた。	引き続き、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながりを深めることができる方策についての研究等を行いつつ、事業推進することが課題である。	引き続き事業を実施する。		計画通りに進んでいる	地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材等を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながりを深めることができる事業を実施することができた。	引き続き、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながりを深めることができる方策についての研究等を行いつつ、事業推進することが課題である。	引き続き事業を実施する。		指導室
									計画通りに進んでいる	放課後子ども教室事業や青少年健全育成強調事業など、NPO法人や地域のボランティアと協力し合いながら、様々なイベントや啓発活動をとおして、地域と子どもたちとのつながりを深めることができた。	昨年度に引き続き、青少年健全育成のため、NPO法人や地域と協力し合いながら事業を進めていく。	計画通りに進んでいる	放課後子ども教室事業や青少年健全育成強調事業など、NPO法人や地域のボランティアと協力し合いながら、様々なイベントや啓発活動をとおして、地域と子どもたちとのつながりを深めることができた。	目的を明確に共有し、市と事業者のお互いの立場を理解するため、より情報交換を密に行う必要がある。	昨年度に引き続き、青少年健全育成のため、NPO法人や地域と協力し合いながら事業を進めていく。		計画通りに進んでいる	放課後子ども教室事業や青少年健全育成強調事業など、NPO法人や地域のボランティアと協力し合いながら、様々なイベントや啓発活動をとおして、地域と子どもたちとのつながりを深めることができた。	情報交換を密に行い、お互いの立場を理解しあうことで、市と協力者のより良い協働関係を構築する必要がある。	引き続き、青少年健全育成のため、NPO法人や地域と協力し合いながら事業を進めていく。		計画通りに進んでいる	ＮＰＯ法人や地域のボランティアと協力し合いながら、放課後子ども教室事業や青少年対策地区委員会事業など青少年健全育成に係る様々なイベントや啓発活動を実施し、地域と子どもたちとのつながりを深めることができた。	協力者と情報交換を密に行い、お互いの立場を理解しあうことで、市と協力者のより良い協働関係を構築する必要がある。	引き続き、ＮＰＯ法人や地域のボランティアと協力し、相互の能力を生かした青少年健全育成事業を進めていく。		児童青少年課

府中市市民協働推進行動計画（平成３０年度～令和３年度）　進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況																	備考
					H30	R1	R2	R3	H27			H28					H29					H30				
									進捗状況	実績	次年度へ向けた取組	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	
	目標（3）地域を支える各リーダーに対する啓発・情報提供																									
6	専門講座の実施	協働推進課		各活動団体のうち、特に地縁型活動団体及び目的型活動団体のリーダーや活動の担い手となる人材を対象に組織基盤を強化するとともに、協働に関する学習会等を実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	次年度の実施に向け、協働相手と共に打合せを実施した。	次年度の試行実施に向け、内容や講師等についての協議を進めていく。	計画通りに進んでいる	市民協働のリーダー学習会として、IIHOE代表の川北氏を講師とし、府中市の状況や今後どのような問題に直面するかの確認を通じ、事業と団体を続けるための基礎の再確認をするとともに、協働の必要性やメリット、コツなどを学ぶ講座を実施した。 [参加者数] 15人 [参加者満足度] 92%	予算的に講師に無理をお願いすることになってしまったこと、また、協働先との参加費の徴取に対する認識にズレがあったため、事業計画時に十分議論すべきであった。	ターゲット層がすでに市民活動に取り組んでいる市民であるため、指定管理者事業に移行し、協働について理解いただけるような講座を引き続き開催する。		計画通りに進んでいる	専門講座の開催 ・「資金調達力を磨く」16名 ・「資金調達力を磨く　2」15名 ・「伝えたいが伝わるチラシをつくる！」19名 ・「写真を活かした広報戦略」28名 ・「Facebook発信講座」22名 ・「チーム力を上げて地域をもりあげよう！」15名 ・「チーム力を上げて地域をもりあげよう！2」16名 ・「チーム力を上げて地域をもりあげよう！3」15名 ・「人が集まる！成功するイベントの作り方①」24名 「人が集まる！成功するイベントの作り方②」12名	多様なテーマを設定し、座学だけではないワークも豊富な⑦内容を提供し、実践的な内容としたが、その後、そこで得た学びがどのように生かされているか拾えていない。	学ぶだけでなく、実際に活用できているか、来館時などに声掛けしつながりを継続しながらフォローアップしていく。 また、引き続きすでに活動している層が必要な知識、スキルが学べる講座を展開していく。	平成29年度より指定管理者業務に移管 ※開館後登録団体数が伸びているため、まずは団体の組織基盤の強化が緊迫の課題である。今後状況を見ながら協働への理解を深める取組についても検討するよう働きかける。	計画通りに進んでいる	専門講座の開催 12回開催 ・「これからのNPO・市民活動を一緒に考えよう」18名 ・「団体・組織の運営スキルを学ぶ」16名 ・「伝えたいが伝わる！チラシ作り」27名 ・「助成金を獲得する7つの方法1」26名 ・「助成金を獲得する7つの方法2」15名 ・「人が集まるチラシデザインのコツ」35名 ・「写真を活かした広報戦略」27名 ・「マーケティングに効果的なホームページ活用講座」27名 ・「Facebookで仲間を増やそう！」20名 ・「団体のための情報発信講座！団体でPR映像を作ろう！～iPadで作る映画製作から1」11名 ・「団体でPR映像を作ろう！～iPadで作る映画製作から2」11名 ・「人が集まるチラシデザインのコツ・リターンズ」29名	多様なテーマを設定し、座学だけではないワークも豊富な内容を提供し、実践的な内容としたが、その後、そこで得た学びがどのように団体活動に活かされ、基盤が強化されているのか効果が拾えていない。	団体として連続して受講してもらい、伴走等も行いながら、団体の基盤強化に成果を出してもらう。	市民活動センター
	目標（4）大学・学生との協働の推進																									
7	大学・学生への市民協働に係る情報提供及び相談窓口の充実	政策課・協働推進課	全課	大学・学生と、更に効果的な協働事業を実施するため、市の市民協働に向けた取組に係る情報や、市内における協働の機会等に係る情報を積極的に提供します。また、市との協働事業を実施するため、相談・調整をしやすい環境を整えます。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	大学・学生との協働事業について、庁内への周知や大学との連携会議の開催した結果、新規事業が提案・実施され、総件数が増加した。	市と大学との協働事業を実施するため、引き続き相談・調整をしやすい環境を整える。	計画通りに進んでいる	大学・学生との協働事業について、連携体制を構築している東京農工大学、東京外国語大学、明治大学と連携会議を開催し、新規事業を含む協働事業を実施した。	新たな分野での協働連携事業の拡大	大学・学生との協働事業については、新たな分野での協働・連携を実施していくため、引続き相談・調整しやすい環境を整える。		計画通りに進んでいる	平成29年度から大学連携について政策課から、協働推進課へ事務移管があった。連携体制を構築している東京農工大学、東京外国語大学と協働事業について情報共有を行った。	大学によって関わり方が違うため相談・調整しやすい環境づくりを行うとともに、窓口の周知を行う必要がある。また、協定を締結している大学以外の大学とも協働事業の内容を把握するとともにより密な体制の構築を図る。	引き続き、相談・調整しやすい環境を整えるとともに連携体制がより密になるよう検討していく。		計画通りに進んでいる	連携体制を構築している東京農工大学、東京外国語大学と協働事業について情報共有を行った。	大学によって関わり方が違うため相談・調整しやすい環境づくりを行うとともに、窓口の周知を行う必要がある。また、協定を締結している大学以外の大学とも協働事業の内容を把握するとともにより密な体制の構築を図る。	引き続き、相談・調整しやすい環境を整えるとともに市と大学、大学同士のより一層の連携推進のため新たな連携体制について検討する。	協働推進係
	目標（5）企業との協働の推進																									
8	企業に対する市民協働に関する情報の積極的な提供	経済観光課、協働推進課		企業に対して、市が推進する市民協働に関する情報を、市民活動センターや商工会議所等を通じ、積極的に提供します。 また、市との協働事業を実施するため、相談・調整をしやすい環境を整えます。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターを中心に、情報提供を実施した。	工業技術情報センターを中心に、情報提供の実施を継続する。	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターを中心に、情報提供を実施した。		工業技術情報センターを中心に、情報提供の実施を継続する。		計画通りに進んでいる	工業技術情報センターを中心に、情報提供を実施した。		工業技術情報センターを中心に、情報提供の実施を継続する。		計画通りに進んでいる	工業技術情報センターを中心に、情報提供を実施した。		工業技術情報センターを中心に、情報提供の実施を継続する。		経済観光課
9	企業との協働を推進するための各種仕組みの整備	経済観光課、協働推進課		企業と各活動団体や市とが、積極的に協働事業を検討し、実施できるようにするため、相互に相談・調整・情報交換ができる仕組みや、市が推進する市民協働の取組に賛同し、協働によるまちづくりや各活動団体への支援などに積極的な企業を紹介する仕組みを整備します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターにおいて、企業のマッチングを支援するガイドブックの提供を行うとともに、センターＨＰにおいて企業紹介を行った。	工業技術情報センターにおいて、企業のマッチングを支援するガイドブックの提供を継続するとともに、センターＨＰにおいて更なる企業紹介を行う仕組みについて検討する。	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターにおいて、企業のマッチングを支援するガイドブックの提供を行った。また、センターＨＰにおいて企業紹介を行うとともに、企業紹介の新たな仕組みについて具体的な検討を行った。		センターＨＰを活用し、企業のマッチングがより一層円滑に進むよう、新たな仕組みの整備を行っていく。		計画通りに進んでいる	工業技術情報センターにおいて、企業の活用ガイドブック及びセンターＨＰをリニューアルし、きめ細かく企業紹介を行った。		センターＨＰや異業種交流事業などを活用し、企業のマッチングがより一層円滑に進むよう整備を行っていく。		計画通りに進んでいる	工業技術情報センターにおいて、企業の活用ガイドブック及びセンターＨＰをリニューアルし、きめ細かく企業紹介を行った。		センターＨＰや異業種交流事業などを活用し、企業のマッチングがより一層円滑に進むよう整備を行っていく。		経済観光課
									計画通りに進んでいる	他市の事例等を中心に調査・研究を行い、企業との協働を推進するための各種仕組みの整備についての検討を実施。	次年度の整備に向け、具体的な検討を進めていく。	計画通りに進んでいる	企業からの相談を受け、関係課と打合せを実施するほか、情報提供を行った。	平成29年度から企業連携について、政策課より事務移管があるため、より一層取り組む必要がある。	情報共有の仕組みの整備に着手する。		計画通りに進んでいない	他市の事例等を中心に調査を行うとともに、市民活動センターと、企業による協働の取組や,CSR活動の紹介など、情報共有の仕組みについて協議した。	市民活動センターの開館に伴い、企業による協働の取組や、ＣＳＲの活動を紹介するなど、積極的に取り組む必要がある。	市民活動センターと連携しながら、企業による協働の取組や、CSRの活動を紹介し、企業との協働を推進する仕組みを整備する。		計画通りに進んでいる	企業からの相談を受け、関係課と打合せを実施するほか、情報提供を行った。 また、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と地域活性化に関する協定を締結した。	市民活動センターと連携し、企業による協働の取組や、ＣＳＲの活動を紹介するなど、積極的に取り組む必要がある。	引き続き、企業と関係課をつなぐ情報提供等を行うとともに、市民活動センターと連携しながら、企業による協働の取組や、CSRの活動を紹介するなど、企業との協働を推進する仕組みを整備する。	協働推進係
	推進方策２ 職員の意識改革及びスキルアップ																									
	目標（1）職員研修の充実等																									
10	職員研修プログラムの充実	職員課、協働推進課		市民協働の理念や推進手法を学ぶ従来の研修に加え、実際の協働の現場において体験型の研修を行うなど、研修プログラムの充実を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	関係課への情報提供を通じて、検討を進めた	検討内容を踏まえ、関係課と研修プログラム充実に向けた協議を進めていく	計画通りに進んでいる	関係課への情報提供及び協議を行った。	情報共有及び協議が円滑に進み、実施に向けての方向性を示せた。	協議を踏まえ、関係課と詳細な研修プログラム構築に向けて更なる検討・協議を進めていく。		計画通りに進んでいる	関係課への情報提供及び協議を行った。	－	引き続き、関係課と協力し、事業を進めていく。		計画通りに進んでいる	関係課への情報提供及び協議を行った。	－	引き続き、関係課と協力し、事業を進めていく。		職員課
									計画通りに進んでいる	他市の事例等について調査・研究を行い、検討を進めた。	具体的な実施に向け、検討・協議を進めていく。	計画通りに進んでいる	具体的な実施に向け、関係課と協議を行った。	－	入庁6年目の職員を対象に、協働の現場に職員を派遣する。		計画通りに進んでいる	具体的な実施に向け、関係課と協議を行った。 今年度より、入庁6年目の職員を対象に、協働の現場に派遣する体験型の研修を行い、12団体へ派遣した。	体験研修について、体験先により時間や内容の濃さにバラつきがある。また、イベントの人員として捉えている団体もある。	引き続き入庁6年目の職員を対象に協働の現場に職員の派遣を行うほか、派遣団体に対する周知や応募要件の見直しを検討する。		計画通りに進んでいる	入庁6年目の職員を対象に、協働の現場に派遣する体験型の研修を行い、19団体へ派遣した。	体験研修前のオリエンテーションを必須条件とするなど、応募要件を見直したが、体験先により研修生の満足度に差が生じている。	引き続き入庁6年目の職員を対象に協働の現場に職員の派遣を行うほか、派遣団体に対する周知や応募要件の見直しを検討する。	協働推進係
	市民協働推進シンポジウムの開催	協働推進課																								

府中市市民協働推進行動計画（平成３０年度～令和３年度）　進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況																	備考
					H30	R1	R2	R3	H27			H28					H29					H30					
									進捗状況	実績	次年度へ向けた取組	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組		
	目標（2）職員が協働の経験を積むための環境づくり																										
11	職員が公益的な活動に参加しやすい環境の推進	協働推進課	職員課	休暇制度の啓発など、職員が公益的な活動に参加しやすい環境を推進します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	休暇制度や勤務条件についての調査・研究を進めた	調査・研究の結果を踏まえ、休暇制度の見直し等を検討する。	計画通りに進んでいない	休暇制度や勤務条件についての調査・研究を進めた。	ボランティア休暇の対象範囲を拡大するとともに、承認方法の変更を要するため、規則の整備が必要となる。	ボランティア休暇の拡充を図り、運用を開始する。		完了（目標を達成）	平成２９年７月１日からボランティア休暇の対象範囲の拡大を行った。（7人・16件の取得実績あり）	対象範囲に、「国、地方公共団体が主催、共催、協賛又は後援する事業を支援する活動」などを追加したが、取得イメージを容易にするために、具体的な事例等を示していく必要がある。	これまでの１日単位の取得から、必要な時間だけ取得を可能とする、時間単位での取得を認めたことから、更なる取得を促進していく。		計画通りに進んでいない	制度の拡大を行って以降、取得促進のための周知等を行っていない。	取得促進のための周知を行う必要がある。	庁内報での制度紹介など、取得促進のための周知を行う。		協働推進係
推進方策３ 情報共有及び双方向型コミュニケーションの推進																											
	目標（1）市からの情報発信方法の充実																										
12	市民活動・市民協働に関する提供情報の拡充	協働推進課		「コミュニティサイトふちゅう」やインターネット等を活用して、市民や各活動団体等の公益的な活動や協働に関する情報を収集するとともに、分かりやすく発信します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	コミュニティサイトふちゅうとＮＰＯ・ボランティア活動センターホームページの統合・リニューアル、同センター機関誌の発行部数増加など、情報提供のさらなる拡充を図った。	コミュニティサイトふちゅう活用講座の開催やＳＮＳによる情報発信など、情報提供のさらなる拡充を図る。	計画通りに進んでいる	ＳＮＳによる情報発信とセキュリティに関する講座の開催及び質問会の開催を行い、団体の情報発信力の強化を図った。	都合が合わず、受講できなかった団体もある。	指定管理者との協議のもと、コミュニティサイトふちゅう活用講座の開催やＳＮＳによる情報発信などのほか、情報提供のさらなる拡充を図る。		計画通りに進んでいる	指定管理者により、センター登録団体とコミュニティサイトふちゅうの登録団体の統一化をしたことに加え、コミュニティサイトふちゅう活用講座兼団体交流会を開催し、団体の情報発信力の強化を図った。また、メールマガジンの配信も開始した。	コミュニティサイトふちゅうを活用している団体が限られている。	コミュニティサイトふちゅう活用講座の開催を継続するとともに、団体登録更新完了時のアナウンスやイベントの際の団体展示ブース出展時、ブラッツHP等による団体イベント紹介時等に声掛けし利用を促す。	平成29年度より指定管理者業務に移管	計画通りに進んでいる	市民活動団体の登録団体数が約400団体となり、各団体の新規登録および更新時にコミュニティサイトふちゅうの活用・操作に関するアドバイスを体系的に行うことができたため、掲載件数が増加した。	10年以上継続活用している現コミュニティサイトふちゅうのポータルサイト機能およびデザイン面で充実が必要な状況となり、新たなシステムの検討を進めなければならない。	WebやSNS媒体を通じて、市民活動団体と市民、他組織との協働コーディネートに資する新たなポータルサイトの構築を目指し、新システムの導入に取り組む。	市民活動センター
13	市ホームページのコンテンツの充実・活用	協働推進課		市における協働事業などの取組等、適時情報提供できるように、市ホームページを活用するとともに、協働に取り組む各活動団体の取組等についても、市民、各活動団体等に分かりやすく発信します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	公開する情報範囲の拡大等、情報共有できる仕組みづくりについての検討を実施。	具体的なコンテンツの充実・活用方法等の検討結果を踏まえ、市ホームページに反映する。	計画通りに進んでいる	随時、コンテンツを作成して情報提供を行いつつ、既存コンテンツの見直しを行った。	平成29年度より、一部の協働に関する事業が指定管理者事業に移行するため、掲載方法等検討の余地がある。	掲載しているコンテンツの掲載方法等見直しを図るとともに、市民が活用しやすいようなコンテンツを作成する。		計画通りに進んでいる	随時、コンテンツを作成して情報提供を行いつつ、既存コンテンツの見直しを行った。	掲載しているコンテンツをより一層市民が活用しやすくなるよう、掲載方法を見直す余地がある。	引き続き、掲載しているコンテンツの掲載方法等見直しを図るとともに、市民が活用しやすいようなコンテンツを作成する。		計画通りに進んでいる	随時、コンテンツを作成して情報提供を行いつつ、既存コンテンツの見直しを行った。	掲載しているコンテンツをより一層市民が活用しやすくなるよう、掲載方法を見直す余地がある。	引き続き、掲載しているコンテンツの掲載方法等見直しを図るとともに、市民が活用しやすいようなコンテンツを作成する。		協働推進係
	目標（2）情報共有と双方向のコミュニケーション機能の拡充																										
14	双方向のコミュニケーションに向けた取組の検討・実施	広報課		市民が自分に合った広報・広聴の手法をより一層活用することができるよう、ＳＮＳ（ソーシャルネットワークサービス）を含めた各種情報媒体の活用について適時検討するとともに実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	ＳＮＳを活用し、市民との双方向のコミュニケーションを図るため、先進自治体の取組み事例などを調査・研究した。	ＳＮＳを各課が開設・活用する際の指針となるガイドラインの策定に着手した。	計画通りに進んでいる	ＳＮＳを各課が開設・活用する際の指針となる「府中市ソーシャルメディアガイドライン」を策定した。	ＳＮＳを各課が活用できるように、普及・啓発に努めるとともに、引き続き先進自治体の取組み事例などを調査・研究する。	府中市ソーシャルメディアガイドラインの周知機会を設けるため、各種調整を行う。また、専心自治体の取組み事例を調査・研究する。		計画通りに進んでいる	広報担当者説明会で府中市ソーシャルメディアガイドラインの周知を図った。	ＳＮＳを各課が活用できるように、普及・啓発に努めるとともに、引き続き先進自治体の取組み事例などを調査・研究する。	府中市ソーシャルメディアガイドラインの周知機会を設けるため、各種調整を行う。また、先進自治体の取組み事例を調査・研究する。	※協働推進課（Facebook、twitter）、政策課：ラグビー（Facebook、twitter）、経済観光課（インスタグラム）の導入が図られた。	計画通りに進んでいる	広報担当者説明会で府中市ソーシャルメディアガイドラインの周知を図った。	ＳＮＳを各課が活用できるように、普及・啓発に努めるとともに、引き続き先進自治体の取組み事例などを調査・研究する。	府中市ソーシャルメディアガイドラインの周知機会を設けるため、各種調整を行う。また、先進自治体の取組み事例を調査・研究する。		広報課
15	市民協働のまちづくりカフェの実施	協働推進課	全課	協働に取り組む市民や各活動団体の代表者、職員等が一堂に会して、テーマに応じたワークショップ形式で情報交換できる機会を提供します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	次年度の試行実施に向け、協働相手と共に打合せを実施した。	試行実施に向け、内容や講師等についての協議を進めていく。	計画通りに進んでいる	市民協働のまちづくりカフェとして、テーマを設定し、市職員によるミニ講演とワークショップを実施した。なお、設定したテーマは①自然環境、②中心市街地活性化、③ラグビーワールドカップ2019、2020オリンピック・パラリンピック、④障害者差別解消法 ［参加者数］ ①23人・②34人・③32人・④28人 計117人 ［参加者満足度］ ①90%・②100%・③97%・④94%	2回目以降のテーマ設定を各課から提案いただいたものとしたため、事業内容の充実を図ることができたが、提案いただいたテーマと事業タイトルの設定が、一部分かりづらいものとなった。	テーマと事業タイトルのかい離がないよう、協働先と引き続き協議するとともに、職員研修の場としても活用しているため、効果的な実施方法等も検討していく。		計画通りに進んでいる	市民協働のまちづくりカフェとして、テーマを設定し、市職員によるミニ講演とワークショップを実施した。なお、今年度は東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、各回テーマを設定し行った。 ①文化・教育・持続可能性、②スポーツ・健康・世界への発信、③経済・テクノロジー・まちづくり、④第1回から第3回までの全てのテーマ ［参加者数］ ①33人②41人③30人④19人　計123人 ［参加者満足度］ ①80%②96%③83%④90%	庁内のテーマ応募や市民協働推進員以外の職員の参加が少なかった。	テーマ募集のタイミングを工夫するとともに、まちづくりカフェに参加するメリットを明確にすることで、テーマ応募や参加者の増加を図っていく。また、庁内からの応募状況により、市民にテーマ募集をすることを検討する。		計画通りに進んでいる	市民協働のまちづくりカフェとして、テーマを設定し、市職員によるミニ講演とワークショップを実施した。なお、設定したテーマは、 ①まちのにぎわい・活性化、②防災、③多文化共生、④アイデアを実現するためのステップアップ編 ［参加者数］ ①35人②34人③35人④12人　計116人 ［参加者満足度］ ①94%②96%③100%④100%	テーマ応募の方法や期間を見直したが、庁内のテーマ応募や市民協働推進員以外の職員の参加が少なかった。	引き続き、テーマ応募や参加者の増加を図っていくとともに、テーマの設定方法を検討していく。	協働推進係
推進方策４　協働のコーディネート機能の育成																											
	目標（1）協働のコーディネーターの育成及び活用																										
16	協働のコーディネーターの育成及び活用方法の検討	協働推進課		養成講座を実施し、協働のコーディネーターを育成します。また、協働のコーディネーター登録制度等、講座修了生の学びを地域に還元できる仕組みについて検討・実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	市民活動・協働推進コーディネーター養成講座を実施し、受講生にはＮＰＯ・ボランティア活動センター主催事業の企画・運営に携わっていただいた。	前年度に引き続き、協働のコーディネーターを育成するとともに、他自治体の先進事例等について調査・研究していく。	計画通りに進んでいる	前年度に引き続き市民活動・協働推進コーディネーター養成講座を実施し、受講生にはＮＰＯ・ボランティア活動センター主催事業の企画・運営に携わっていただいた。	受講後の活用の場の提供。	指定管理者との協議のもと、協働のコーディネーターを育成するとともに、他自治体の先進事例等についてさらに調査・研究していく。		計画通りに進んでいる	前年度に引き続き市民活動・協働推進コーディネーター養成講座「”つなぎすと府中”養成講座」を実施し、受講生には市民活動センター主催事業「プラッツひろば」の企画・運営に携わっていただいた。	つなぎすとは市民活動センターの事業の補助員の養成機関ではないので、主体的に活動できるネットワークづくり、意識づけを強化していく必要がある。	講座の目的・内容をさらにブラッシュアップし、絞り込んでいく。	平成29年度より指定管理者業務に移管 ※現状、コーディネーター登録制度は制定されていないが、今後コーディネーター養成講座の修了生との関わり方を含め、検討していく。	計画通りに進んでいる	「つなぎすと府中養成講座」（全7回）の開催。 修了生が市民活動団体を作り活動開始。 講座修了生をどのように協働のコーディネーターとして活躍してもらうか、制度を検討した。	「つなぎすと養成講座」の受講生のレベルがまちまちで、講座に期待するものにばらつきがある。 講座修了生がグループを作り、積極的に活動を始めているが、コーディネーターとしては活動経験値が不足している。	「つなぎすと養成講座」に加え、修了生を対象とした「アドバンス講座」を開催し、スキルアップを図る。 経験値の不足を補うための「つなぎすと実践塾（インターンシップ）」を開催し、その修了生には、コーディネーターとして仕事を依頼するなどの一連の仕組みをトータルで実施する。	市民活動センター

府中市市民協働推進行動計画（平成３０年度～令和３年度） 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況																	備考
					H30	R1	R2	R3	H27			H28					H29					H30					
									進捗状況	実績	次年度へ向けた取組	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組		
17	市民協働推進員の設置	協働推進課	全課	協働に係る先進事例等の情報を収集するとともに、各活動団体とのコーディネート役を担えるよう、各課に市民協働推進員を配置するとともに、各課において協働の取組を更に推進できるよう、効果的な活用を検討・実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働推進シンポジウムやわがまち懇談会への出席を通して、各活動団体とのコーディネート役として必要なスキルを学ぶ。 ［推進員の数］ ５１人	継続して市民協働推進員を各課に設置し、職員研修等を通した職員のスキルアップを図る。	計画通りに進んでいる	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働実感イベント（府中若者会議）や市民協働のまちづくりカフェへの出席を通して、市民との対話の大切さを学ぶとともに、どの課でも協働ができることを理解いただいた。 ［推進員の数］ ５１人	研修において、時間外に集まることが多いなど、負担感を解消する必要がある。 また、主任以上と限定しているため、見直しを図る必要がある。	平成29年度の職員研修の講師と協議し、負担感の軽減を図るとともに、主任以上という対象の見直しを図る。		計画通りに進んでいる	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働のまちづくりカフェへの出席を通して、協働に必要な対話の大切さを学ぶとともに個人・職員・事業としてできることを理解いただいた。 また、主任以上としていた対象の見直しを行った。 ［推進員の数］ ５２人	各課における協働をより一層推進するため、市民協働推進員の役割を十分に理解いただくとともに、協働事業提案制度についても理解いただくことで、提案数の増加などにつなげる。	市民協働推進員研修にて、オリエンテーションとして市民協働推進員の役割と協働事業提案制度などについて講義を行う。		計画通りに進んでいる	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働のまちづくりカフェへの出席を通して、協働に必要な対話の大切さを学ぶとともに個人・職員・事業としてできることを理解いただいた。 また、研修のオリエンテーションで市民協働推進員の役割と協働事業提案制度などについて講義を行った。 ［推進員の数］ ５２人	市民協働推進員の役割や研修内容について、課によって認識にばらつきがある。	課内・係内で研修内容や学びを共有してもらうよう促す。	協働推進係
推進方策５　市民活動拠点施設等の有効活用																											
目標（1）協働の拠点としての市民活動拠点施設の活用																											
18	市民活動拠点施設の運営に係る市民意見の反映	協働推進課		より使いやすい施設とするために、市民、各活動団体等の利用者を中心に運営協議会を設置し、意見を反映します。	検討	検討	検討	検討									計画通りに進んでいない	利用者アンケートなどを実施し、市民意見を施設運営へ反映させる仕組み作りを開始した。また、運営協議会の設置について検討を行った。	より使いやすい施設とするため、市民の声を施設運営へより反映させるための仕組みの構築を検討する。	利用者アンケートを引き続き実施したうえで、より多くの市民の声を聞くため、投書箱を設置する。また、その声を施設運営へ反映させるための仕組みの構築を検討する。		計画通りに進んでいない	利用者アンケートの実施、プラッツへの手紙入れボックスを設置し、市民意見を反映させる取り組みを行った。 運営協議会の設置は施設運営が軌道に乗ってからということで保留中。	市民の声をより施設運営に反映させ、使いっぱなしにならない意識の醸成が必要。	利用者アンケート、日常のロビーワーク、プラッツへの手紙のほか、「運営協議会」の設置についても引き続き検討する。	市民活動センター
目標（2）既存公共施設の活用方策の検討																											
19	協働の推進のための場としての既存公共施設に係る活用方策の検討	建築施設課	各公共施設所管課	公共施設マネジメント の考え方に基づく、既存公共施設の在り方や機能の見直しに当たっては、市民協働機能も含めた市民ニーズを捉えた活用ができるよう、各施設所管課と検討を進めます。	実施	継続実施	継続実施	検討結果とりまとめ	計画通りに進んでいる	既存の公共施設について、活用の実態を検証するとともに、様々な活用方法について検討した。	引き続き、公共施設の柔軟な運営及び様々な活用方法について検討を行う。	計画通りに進んでいる	協働の推進のための場としての活用も含め、既存の公共施設の活用を取組の中心とした第１次府中市公共施設マネジメント推進プランに定める各施設の取組の進ちょく状況の把握と取組の推進を図った。	公共施設マネジメントを推進していく中で生じている課題があり、その解決が協働の推進のための場としての既存公共施設の活用に向けた課題解決につながるものと認識している。	平成２９年度がプランの最終年度となるため目標達成に向けて働きかける。 第１次推進プランの取組を踏まえ、新たなプランを策定する。		計画通りに進んでいる	協働の推進のための場としての既存公共施設の活用を含めた公共施設マネジメントの取組について、着実に推進していくため、第２次府中市公共施設マネジメント推進プランを策定した。	既存公共施設について、老朽化の進行状況や市の財政状況も踏まえつつ、協働の推進等の新たな市民ニーズに対応する必要がある。	第２次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、着実に取組が推進されるように、適切な進行管理を行う。		計画通りに進んでいる	第２次府中市公共施設マネジメント推進プランで定める各施設の取組の進ちょく状況の把握と取組の推進を図った。	既存公共施設について、老朽化の進行状況や市の財政状況も踏まえつつ、協働の推進等の新たな市民ニーズを把握し、対応する必要がある。	第２次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、着実に取組が推進されるように、適切な進行管理を行う。	建築施設課
目標（3）新庁舎における協働を支える場の整備																											
20	新庁舎における協働を支える場の整備	新庁舎建設推進室		府中市庁舎建設基本計画の考え方を踏まえながら、新庁舎建設の設計において計画した、市民との協働を支える場を整備します。	継続検討	継続検討	継続検討	継続検討	計画通りに進んでいる	平成27年2月に策定した府中市庁舎建設基本計画に基づき、基本設計において、市民協働を支える機能について検討している。	現在進めている基本設計において引き続き検討を進め、規模や活用方法など、市民協働を支える場の仕組みについて具体化していく。	計画通りに進んでいる	基本設計において、新庁舎は、主たる庁舎機能を担う「おもや」のほか、庁舎機能を補完し、市民協働を支える「はなれ」を配置し、市民と市の協働のための市民協働ラウンジなどを計画した。	市民協働を支える「はなれ」の機能として、他公共施設の機能を考慮しながら具体的に運用方法等を検討する必要がある。	現在進めている実施設計において、より具体的な運用方法を視野に入れながらハード面の整備を検討する。		計画通りに進んでいる	実施設計において、市民と市の協働のための「市民協働ラウンジ」の具体的な設備等を定めた。	市民協働ラウンジの具体的な運用方法についてより細かく定めていく必要がある。	ハード面の整備として設計は完了したため、今後は、工事に向けて市民協働のあり方等の動向に注視していく。	全体工程に遅れが生じ、平成33年度着工、平成35年度におもや完成、平成39年度にはなれ完成となる予定。	計画通りに進んでいる	広報特別号の発行により、「市民協働ラウンジ」を含め実施設計の内容を周知した。	「はなれ」完成時期を踏まえ、市民協働ラウンジの具体的な運用方法について定めていく必要がある。	市民協働のあり方等の動向に注視していく。	令和元年5月に見直しを行い、新庁舎建設工事の着工時期を令和3年5月とし、しゅん工を令和8年11月に予定している。	新庁舎建設推進室
推進方策６　市民自身が市民の活動を支える環境づくり																											
目標（1）市民が市民の活動を資金面で支援する仕組みの検討																											
21	寄附をしやすい環境の整備	政策課・財政課	全課	市が推進する市民協働の取組に賛同いただき、資金面で支援いただける方からの善意を汲み取りやすくするため、寄附に係る窓口の一本化や手続の簡素化を図り、寄附をしやすい環境づくりに取り組みます。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	寄附に係る手続の簡素化を図るため、ふるさと納税制度の活用について検討した。 また、寄附金の活用方法については、次期基金計画の改定に合わせて検討することを決定した。	寄附者が専用ポータルサイトを利用して簡単に手続ができるよう、ふるさと納税の受入環境整備に係る予算科目を新設した。	計画通りに進んでいる	寄附手続の簡素化を図るため、平成28年9月にインターネット上の専用ポータルサイトから寄附手続が行えるよう整備した。	返礼品の送付を始めたばかりということもあり、本市の魅力をＰＲする返礼品の種類が少ない。	市から市内企業に積極的な声がけを行うとともに、説明会等を実施し、返礼品の拡大・拡充に努める。		計画通りに進んでいる	ふるさと納税を通じて本市の魅力をＰＲするため、市内事業者向けにふるさと納税の返礼品掲載に係る説明会を実施するなど、返礼品の拡充を図った。また、市内事業者だけではなく、「ボートレース平和島」や「府中市美術館」といった市施設を活用した体験型の返礼品も新たに追加した。	寄附金額を一定以上保つには、定期的な返礼品のリニューアルが必要となるため、新規の返礼品の開拓や府中市をＰＲできる特産品の開発など対応しなければならいない。	スポーツチームの協力によるイベントなど、体験型の返礼品を実現できるよう、ノウハウの構築と協力企業との調整に努める。 また、第6次府中市総合計画の基本目標で定める4分野に係る事業の財源として活用する基金を創設し、寄附金の積立も可能とする。		計画通りに進んでいる	ふるさと納税を通じて本市の魅力をＰＲするため、市内事業者向けにふるさと納税の返礼品掲載に係る説明会を実施するなど、返礼品の拡充を図った。	寄附金額を一定以上保つには、定期的な返礼品のリニューアルが必要となるため、新規の返礼品の開拓や府中市をＰＲできる特産品の開発など対応しなければならいない。	市から市内企業に積極的な声がけを行うとともに、説明会等を実施し、返礼品の拡大・拡充に努める。	政策課・財政課
目標（2）コミュニティビジネス実施団体の育成及び支援																											
22	コミュニティビジネス実施団体の育成及び支援	協働推進課		コミュニティビジネスを実施する市民活動団体や企業等の育成及び支援に取り組みます。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	コミュニティビジネス啓発講座やコミュニティビジネスガイダンス・個別相談の開催を通じて、コミュニティビジネス実施団体の育成・支援を行った。	前年度に引き続き、コミュニティビジネスの育成・支援に資する施策を実施する。	計画通りに進んでいる	前年度に引き続きコミュニティビジネス啓発講座やコミュニティビジネスガイダンス・個別相談の開催を通じて、コミュニティビジネス実施団体の育成・支援を行った。	現役世代の活動団体が増えてきてるため、講座や相談の曜日設定を検討する必要がある。	指定管理者との協議のもと、コミュニティビジネスの育成・支援に資する施策を実施する。		計画通りに進んでいる	引き続きコミュニティビジネスガイダンス・個別相談の開催を通じて、コミュニティビジネス実施団体の育成・支援を行った。 また、指定管理者との協議のもと、個別相談の曜日や時間帯を変更した。	コミュニティビジネスガイダンス・相談の利用者数が増加していないため、周知方法や内容を見直し、より市民利用しやすくする。	講座や相談を周知するためのチラシの変更や内容の見直しを行い、利用機会の増加や質の向上を目指し、コミュニティビジネスの育成・支援を進める。	平成29年度より指定管理者業務に移管	計画通りに進んでいる	SB/CB個別相談、コミュニティビジネス入門講座（3クール）の開催を通じて、SB/CBの起業を促した。 起業支援コーナーの利用の促進に注力し、利用者の交流会を実施するなど、ビジネスチャンス獲得のきっかけの場を提供した。	SB/CBの起業家育成のための、地域内の他機関との連携の場ができていない。起業支援スペースのキャパシティが少ない。	地域内の金融機関、商工会議所・経済観光課との連携体制づくり。 テーマを特化したSB/CB起業に関連した連続講座の検討。		市民活動センター

府中市市民協働推進行動計画（平成３０年度～令和３年度）　進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況																備考
					H30	R1	R2	R3	H27			H28					H29					H30				
									進捗状況	実績	次年度へ向けた取組	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	
	推進方策７　協働事業提案制度の整備																									
	目標（1）協働事業提案制度の充実																									
23	市民提案型協働事業提案制度の充実	協働推進課	全課	市民が自由な発想に基づき、協働事業の実施を市に対して提案をできる制度について、複数年度で実施できるよう検討し、充実を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	モデル事業として協働事業の提案を募集し、実施した。 ［提案事業数］ 6事業 ［実施決定事業数］ 4事業	初年度の課題を踏まえ、事業の募集時期や進捗状況の管理方法等について改善を図る。	計画通りに進んでいる	市民提案型協働事業進め方ガイドブックを作成し、提案団体及び市担当課がスムーズに事業を実施できるよう改善を図った。 ［平成28年度提案事業数］ 3事業 ［平成28年度実施事業数］ 2事業	事業の方向性が固まっていない状況で提案書の提出があり、結果三者打合せで時間がかかってしまった。	事前相談期間を設けることで、提案書の制度を高めるとともに市民及び担当課の負担軽減を図る。	平成31年度提案募集（平成30年度実施）から事前相談業務のみ指定管理者に移行することで、市民提案型市民活動支援事業助成金や民間の助成金につなげるなど、より一層効果的・効率的な事業となるよう検討を進める。	計画通りに進んでいる	事前相談期間を設けることで提案には至らなかったが、相談件数の増加につながった。 事前相談数９事業 ［平成29年度提案事業数］ 4事業 ［平成29年度実施事業数］ 2事業	協働事業提案制度は単年度事業であるため、市の予算要求のスケジュール上、次年度以降担当課における事業化には結び付きにくい。	平成31年度提案募集（平成30年度実施）から複数年度での提案が可能となるよう関係課と調整を行う。 また、制度への庁内理解が不十分であるため市民協働推進員研修や係長職対象研修で周知を行う。		計画通りに進んでいる	平成31年度提案募集（平成30年度実施）から複数年度での提案が可能となるよう制度の見直しを行った。また、市民提案型市民活動支援事業助成金や民間の助成金につなげるなど、より一層効果的・効率的な事業となるよう事前相談業務のみ指定管理者に移行した。 ［平成30年度提案事業数］ 5事業 ［平成30年度実施事業数］ 3事業	平成31年度提案募集（平成30年度実施）から複数年度での提案が可能となったことから、より一層制度の周知と庁内理解を推進する必要がある。 また、事前相談業務を指定管理者に移行したことから、指定管理者の制度への十分な理解が必要である。	庁内へのより一層の制度周知を図るため、市民協働推進員研修や管理監督職対象研修で周知を行う。	協働推進係
24	行政提案型協働事業提案制度の充実	協働推進課	全課	市が定めた地域課題に係るテーマに基づき、協働事業の実施を市に対して提案できる制度について、より活用しやすい制度となるよう検討し、充実を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	次年度の実施に向け、制度整備の準備を行った。	制度のＰＲや募集方法等、市民提案型協働事業と併せて効果的に実施する。	計画通りに進んでいる	制度整備を行うとともに、市民提案型協働事業と併せて事業の周知を実施した。	各課からの提案が少ない傾向にあるため、テーマの募集時期等を含め、改善を図る必要がある。	募集時期の見直しから着手し、改善が見られない場合、他の取組と連動させるなどの検討を行う。		計画通りに進んでいる	募集時期の見直しを行うとともに協働可能性調査において行政提案型協働事業の活用を呼び掛けるなど、提案数増加のための改善を行った。 ［平成29年度提案事業数］ 3事業 ［平成29年度実施事業数］ 2事業	庁内からのテーマ応募が少なく、提案数も減少傾向にある。	市民協働可能性調査で行政提案型協働事業の活用を促す。 また、市民協働推進員研修や今年度から実施する係長職対象研修等で周知する。		計画通りに進んでいる	募集時期の見直しを行うとともに協働可能性調査において行政提案型協働事業の活用を呼び掛けるなど、提案数増加のための改善を行った。 ［平成30年度提案事業数］ 1事業 ［平成30年度実施事業数］ 1事業	庁内からのテーマ応募が少なく、提案数も減少傾向にある。	応募の回答様式を見直すとともにテーマ応募時に他市事例の紹介など積極的に活用を促す。	協働推進係
25	様々な主体による協働事業の提案の仕組みの検討	協働推進課		各活動団体が、様々な主体との協働事業の実施を提案できる仕組みについて、検討し、整備します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	他市の事例を中心に、情報収集を行った。	平成２９年度の実施に向け、調査・研究を進める。	計画通りに進んでいる	平成29年度の実施に向け、調査・研究を行った。	費用等制度設計に課題が生じたため、引き続き検討を進める必要がある。	早期実現のため、引き続き検討を進める。		計画通りに進んでいる	市民活動センターにおいて、魅力的な活動の発掘と、立ち上げまもなく、事業実施の経験がない団体の育成を目的に、「プラッツと。」として事業企画運営で協働する団体等を公募し、その実施に向けて伴走サポートを行った。		市民活動センターが「プラッツと。」で中間支援組織として提案団体の伴奏サポートしていく中で、様々な主体の新たなつながりが生まれている。そのような動向を踏まえて、市においても引き続き検討を行う。		計画通りに進んでいる	市民活動センターにおいて、魅力的な活動の発掘と、立ち上げまもない事業実施の経験がない団体の育成を目的に、「プラッツと。」として事業企画運営で協働する団体等を公募し、その実施に向けて伴走サポートを行った。		市民活動センターが「プラッツと。」で中間支援組織として提案団体の伴奏サポートしていく中で、様々な主体の新たなつながりが生まれている。そのような動向を踏まえて、市においても引き続き検討を行う。	協働推進係
	目標（2）市の事務事業に係る協働事業化の検討																									
26	市の事務事業に係る協働事業化の推進	政策課・財政課・協働推進課	全課	市の事務事業の協働の可能性を検討するため、引き続き協働可能性調査を実施します。 また、調査結果を活用するとともに、事務事業評価制度や政策会議などを通じ、新たな協働事業の実施に係る提案を促進します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	各主管部課で実施している事務事業を協働の視点で見直すことを目的に、「協働可能性調査」を実施した。	より多くの市民の協働に係る理解の促進を図るため、パイロット事業に選定された事業について、市ホームページ等を活用して積極的にＰＲしていく。	計画通りに進んでいる	各主管部課で実施している全事務事業を協働の視点で見直すことを目的に、「協働可能性調査」を実施した。	協働可能性調査の結果をもとに、見直しの余地がある事業については協働事業評価対象事業とし、協働で実施していない事業については「行政提案型協働事業」の制度を活用するよう呼び掛けているが、より主管課が積極的に協働の可能性を検討する仕組みが必要である。	引き続き、調査項目の見直しや、より新たな協働事業の実施に係る提案が促進できるよう、改善を図っていく。		計画通りに進んでいる	調査項目の見直しを行い協働で実施していない事業について行政提案型協働事業の活用に結びつけられるよう、改善を図るとともに、調査方法についても見直しを行った。	協働で実施していない事業については「行政提案型協働事業」の制度を活用するよう呼び掛けているが、より主管課が積極的に協働の可能性を検討する仕組みが必要である。	引き続き、調査項目の見直しを行い協働可能性調査を通じて主管課がより積極的に新たな協働事業の実施に係る提案や職員提案などの業務改善に結びつけられるよう働きかける。		計画通りに進んでいる	調査項目の見直しを行い協働で実施していない事業について行政提案型協働事業の活用に結びつけられるよう、改善を図るとともに、調査方法についても見直しを行った。	協働で実施していない事業については「行政提案型協働事業」の制度を活用するよう呼び掛けているが、より主管課が積極的に協働の可能性を検討する仕組みが必要である。	引き続き、調査項目の見直しを行い協働可能性調査を通じて主管課がより積極的に新たな協働事業の実施に係る提案や職員提案などの業務改善に結びつけられるよう働きかける。	協働推進係
	推進方策８　協働を推進するための組織的な仕組みづくり																									
	目標（1）協働事業の相談・提案に係る受付とマッチングに関するルールの整備																									
27	協働事業の相談・提案に係る受付とマッチングに関するルールの周知	協働推進課		市民や各活動団体から、協働事業の実施等について相談や提案を受ける場合や、協働事業の提案がなされた場合のマッチングの仕組みなど、協働事業に関する手順などを示す庁内のルールについて更なる周知を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	他市の事例を中心に、次年度の整備に向け、調査・研修を実施した。	次年度の整備に向けた具体的な検討を進めていく。	計画通りに進んでいる	「提案型協働事業募集要領」及び「提案型協働事業進め方ガイドブック」を作成した。		問合せが多い質問をQ&Aとして掲載するなど、引き続き内容の充実に取り組む。		計画通りに進んでいる	「提案型協働事業募集要領」の作成にあたり、問合せが多い質問をQ&Aとして掲載するなど、引き続き内容の充実を図った。	提案型協働事業の事前相談業務が市民活動センターに移るため、市民への周知や、市民活動センターに市の取組の方向性を理解していただく必要がある。	引き続き、問合せが多い質問のQ&Aを更新するほか、市民活動センターへの事前レクや自治会回覧等での周知を図る。		計画通りに進んでいる	「提案型協働事業募集要領」の作成にあたり、問合せが多い質問をQ&Aとして掲載するなど、引き続き内容の充実を図った。 また、市民活動センターと連携し、協働事業提案制度の周知のためのパンフレット「あなたのやりたいを応援するガイド」を作成した。		引き続き、問合せが多い質問のQ&Aを更新するほか、市民活動センターと連携しながら制度周知を図る。	協働推進係
	目標（2）協働の推進に資する体制づくり																									
28	市民協働推進委員会の設置	協働推進課		協働事業の進捗状況等について、連絡調整を行うため、協働事業を実施する関係部署において構成する市民協働推進委員会を設置するとともに、更なる活用を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や、意見交換等を通して、連絡調整を行った。 ［開催回数］ 3回	継続して当該委員会を設置し、関係部署との連絡調整を行っていく。	計画通りに進んでいる	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や、意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 ［開催回数］ 4回	各課において協働を推進できるような働き掛けについて、より意見をいただく必要がある。	継続して当該委員会を設置し、関係部署との連絡調整を行っていく。		計画通りに進んでいない	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や、意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 ［開催回数］ 2回	協働可能性調査の実施時期の見直し等により適切なタイミングに開催ができず、情報交換の機会が減ってしまった。	適切な時期に委員会を開催し、より効果的・効率的に情報交換ができるよう取り組んでいく。		計画通りに進んでいる	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や、意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 ［開催回数］ 3回	各課において協働を推進できるような働き掛けについて、より意見をいただく必要がある。	継続して当該委員会を設置し、関係部署との連絡調整を行っていく。	協働推進係
	市民協働推進員の設置	協働推進課																								協働推進係

府中市市民協働推進行動計画（平成３０年度～令和３年度）　進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況																	備考
									H27			H28					H29					H30				
					H30	R1	R2	R3	進捗状況	実績	次年度へ向けた取組	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	
29	市民協働推進会議の設置	協働推進課		協働の推進に係る取組の進捗状況等について評価・検証を行うとともに、基本方針や市民協働推進行動計画の見直し、条例制定等について調査・研究を行うため、市民や学識経験者等で構成する市民協働推進会議を設置します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	協働事業等評価制度の検討や、提案型協働事業の選定を実施。 ［開催回数］ 4回	平成27年度に構築した評価制度に基づき、協働事業の評価作業を行うとともに、引き続き提案型協働事業の選定を実施する。	計画通りに進んでいる	協働事業の評価を行うとともに、提案型協働事業の選定を実施。 ［開催回数］ 5回	協働事業の評価及び提案型協働事業の選考のほか、平成29年度については、行動計画の中間見直しと協働の推進に関する条例の要否を含めた検討を行うため、限られた時間の中で効果的な会議運営が求められる。	スムーズな会議の運営となるよう、資料を事前送付する際に、次回会議の論点のポイントを記載するなど工夫する。		計画通りに進んでいる	協働事業の評価、提案型協働事業の選定、行動計画の中間見直し、協働の推進に関する条例の要否を含めた検討を行った。 ［開催回数］ 5回	評価項目の見直しを含め、より効果的・効率的にヒアリングが実施できるよう検討する必要がある。	ヒアリング及び評価を効果的に行うことができるよう、事前に委員より、効果的な質問事項の調査を行い共有を行う。 また、条例の要否を踏まえた検討に当たり、都内の事例を含めスムーズな会議の運営となるよう、資料を事前送付する。		計画通りに進んでいる	協働事業の評価、提案型協働事業の選定、協働の推進に関する条例の要否を含めた検討を行った。 また評価項目や評価方法の見直しの検討を行った。 ［開催回数］ 5回	より効果的・効率的にヒアリングが実施できるよう検討する必要がある。	ヒアリング及び評価を効果的に行うことができるよう、実施方法の見直しを検討する。		協働推進係
	目標（3）政策形成過程への参画のための公募委員制度の拡充																									
30	附属機関等に係る公募市民枠の拡充	政策課		市の施策の検討等を行う際に、広く市民の意見を聞くため、附属機関等を設置する際には、公募委員制度を積極的に採用するとともに、より市民が参画しやすいよう、制度を拡充します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいない	H27.4.1現在 50.0%（前年比-5.56%）	公募委員が在籍する附属機関等の割合が増加するよう、関係課に働きかけを行っていく。	計画通りに進んでいない	H28.4.1現在 50.0%（前年比0%）	専門的な知識、経験を有する者を委員とする場合や設置期間が長い機関については、改善が困難である。	公募委員が在籍する附属機関等の割合が増加するよう、関係課に働きかけを行っていく。		計画通りに進んでいない	H29.4.1現在 46.3%（前年比-3.7%）	専門的な知識、経験を有する者を委員とする場合や設置期間が長い機関については、改善が困難である。	公募委員が在籍する附属機関等の割合が増加するよう、関係課に働きかけを行っていく。		計画通りに進んでいない	H30.4.1現在 44.9%（前年比-1.4%）	専門的な知識、経験を有する者を委員とする場合や設置期間が長い機関については、改善が困難である。	公募委員が在籍する附属機関等の割合が増加するよう、関係課に働きかけを行っていく。	政策課
推進方策９　協働事業の評価・検証の仕組の整備																										
	目標（1）評価・検証の手法の検討・整備																									
31	評価結果等の共有及び改善に向けた取組の実施	協働推進課	全課	市民と市とが実施した協働事業について、市民と市それぞれの立場から、整備をした評価・検証の手法に基づき点検・評価を行い、課題や改善点を共有するとともに、具体的な改善に取り組みます。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施				計画通りに進んでいる	協働事業等評価制度に基づき評価を実施し、評価結果を事業実施者に共有した。また、庁内で報告するとともに、市ホームページにおいて公表した。	評価結果に基づく改善点について把握する必要がある。	評価対象事業について後追い調査を実施するなど、改善の取組を把握する。		計画通りに進んでいない	協働事業等評価制度に基づき評価を実施し、評価結果を事業実施者に共有した。また、庁内で報告するとともに、市ホームページにおいて公表した。	実績調査等の実施時期の見直し等により、評価対象事業の後追い調査について、事業への反映等タイミングを含めて検討する必要があったため、未実施となった。	評価結果の公表とあわせ、評価対象事業について後追い調査を実施し、改善の取組を把握する。		計画通りに進んでいる	評価結果の公表とあわせ、評価対象事業について後追い調査を実施し、改善の取組を把握を行った。		引き続き、評価結果の公表とあわせ、評価対象事業について後追い調査を実施し、改善の取組を把握する。	協働推進係
	市民協働推進会議（仮称）の設置	協働推進課																								
推進方策１０　協働の取組を効果的に進めるための行動計画の策定及び条例の整備																										
	目標（1）市民協働推進行動計画の進行管理の実施																									
32	市民協働推進行動計画の見直し	協働推進課		市民協働を効果的に推進するため、社会経済情勢の変化等を踏まえ、市民協働推進行動計画の見直しを行います。				検討									完了（目標を達成）	平成２７年度、２８年度の取組内容の進捗を踏まえ、市民協働推進会議での検討及び、パブリックコメントを実施し、平成３０年度から３３年度までの期間の計画を策定した。 ［冊子］ 300冊									協働推進係
33	協働に関する事例等の調査・研究の実施	協働推進課		市民協働の効果的な推進に向けて、他自治体における先進的な協働事例等について、調査・研究を行います。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	他市との情報交換会等を通して、先進的な協働事例等について調査・研究を実施した。	継続して協働に関する事例等の調査・研究を行う。	計画通りに進んでいる	他市との情報交換や研修等を通じ、先進的な協働事例等について、調査・研究を実施した。		継続して協働に関する事例等について、調査・研究を行う。		計画通りに進んでいる	他市との情報交換や研修等を通じ、先進的な協働事例等について、調査・研究を実施した。		継続して協働に関する事例等について、調査・研究を行う。		計画通りに進んでいる	他市との情報交換や研修等を通じ、先進的な協働事例等について、調査・研究を実施した。		継続して協働に関する事例等について、調査・研究を行う。		協働推進係
34	協働に関する各種アンケート調査等の実施	協働推進課		市民協働の進捗状況や成果等を把握するとともに、効果的な推進方策を検討し、市民協働推進行動計画の見直し等に反映するため、適宜、市民や各活動団体、職員等に対し、アンケート調査を実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	「市政世論調査」や、庁内の「協働事業に関する実績調査」、「職員意識調査」等、各種調査を実施した。	継続して各種アンケート調査等を実施する。	計画通りに進んでいる	「市政世論調査」や、庁内の「協働事業に関する実績調査」、「職員意識調査」等、各種調査を実施した。		回答しやすいよう、適宜調査票の見直しを行うとともに、継続して各種アンケート調査を実施する。		計画通りに進んでいる	「市政世論調査」や、庁内の「協働事業に関する実績調査」、「職員意識調査」等、各種調査を実施した。		回答しやすいよう、適宜調査票の見直しを行うとともに、継続して各種アンケート調査を実施する。		計画通りに進んでいる	「市政世論調査」や、庁内の「協働事業に関する実績調査」、「職員意識調査」等、各種調査を実施した。		回答しやすいよう、適宜調査票の見直しを行うとともに、継続して各種アンケート調査を実施する。		協働推進係
	市民協働推進会議の設置	協働推進課																								
	目標（2）市民協働の推進に関する条例の制定に係る調査・研究の実施																									
35	市民協働の推進に関する条例の制定に係る調査・研究の実施	協働推進課		条例を制定している先行事例について調査を行うとともに、その要否を含め、条例制定の課題等について研究します。	検討結果に応じ対応	検討結果に応じ対応	検討結果に応じ対応	検討結果に応じ対応				計画通りに進んでいる	全国813市のホームページから、市民協働の推進に関する条例の制定状況について調査を実施した。		市民協働推進会議において、検討を行う。		計画通りに進んでいる	先進事例である、長崎市への視察を実施したほか、協働に関する条例制定市93市のうち、人口規模が同程度の自治体9市に調査を実施した。		引き続き、市民協働推進会議において、検討を行う。		計画通りに進んでいる	市民協働推進会議において、検討を行った。後期基本計画における各施策の取組の協働による成果をふまえ、改めて判断することにした。		後期基本計画における各施策の取組の協働による成果や他市事例に注視していく。		協働推進係